

【対策のポイント】

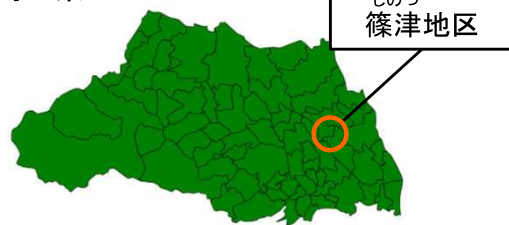
- 基盤整備により営農効率の良いほ場を整備。
- 農地中間管理事業による農地集積により、高齢化による耕作者不足や遊休農地を解消。

【取組地域の概要】

○位置

しらおかし
埼玉県白岡市

埼玉県



しのづ
篠津地区

- 事業名
農地耕作条件改善事業（R1～R2）
- 主要作物
ネギ
- 受益面積 6.4ha
- 主要工事
区画整理：6.4ha

簡易な整備による耕作条件の改善

- 現況ほ場は狭小、不整形で田畑が混在し、道路も未整備であり、地域の高齢化とともに遊休地が目立つ農地であった。
- 区画整理とかんがい施設の整備により、高収益作物への転換が促進された。

基盤



整備前

基盤整備 (R1～R2)



遊休化した農地



ネギ団地となった農地



整備後

耕作者不足と遊休農地の解消

- 高岩地区耕作条件改善推進協議会で話し合いを重ね、基盤整備と合わせ、農地中間管理事業による農地集積を実現。

集積・集約



説明会



現地調査

農地集積の拡大に伴う生産拡大

【担い手への農地集積】

- 農地中間管理機構等と連携し、担い手へ農地集積。
担い手 中心経営体1法人
集積面積 6.4ha（集積・集約率100%）

【農業生産性の向上】

- 農地耕作条件改善事業の活用により、未整備農地を一枚の畑地とすることでネギの生産を拡大（0.5ha→6.4ha）。

対策の効果



着色 担い手



着色 担い手